

気になる！
あの人に
インタビュー
社会医療法人 潤心会
熊本セントラル病院 院長
井上 雅文さん



「支える医療」へ 治す医療から

地域と歩んできた 医療のカタチ

外科医である父を見て育った井上さんが医師を志したのは、高校2年生。町の医師として地域に向き合う父の姿から、「医療は人のためにある」という価値観が自然と根づいていった。

医師として歩み始めてからも、井上さんが変えなかったもの。それは患者さんのための医療を行うという、シンプルでありながら覚悟のいる姿勢だ。

地域に根を下ろした当初は、受け入れてもらえないつらい時期も。それでも目の前の一人に誠実に向き合い、医師会への加入を経て社会医療法人を取得。地域に認められたことは、大きな励みとなった。感謝の気持ちは、設備や体制として地域に還元。救急医療や手術は採算が取りづらいと言われていたが、受け入れてもらえたという記憶は、家族や世代を超えて心に残る。その積み重ねが、井上さんの35年を支えてきた。

未来を守る 予防医療という選択

井上さんが今、目指しているのは、地域の困りごとに応える病院であること。待ち時間の長さや健診の不便さなど、病気を治すだけでなく、重くならないよう支える医療の大切さを感じている。

「これからは、治す前に関わる医療をやりたい」。人口減少や高齢化が進むなかで、予防医療の重要性はますます高まっている。働く世代が多いこの地域に向け、新たに「予防医療センター」を整備。MRIやCTを導入し、早期発見・早期対応で重症化を防ぐ体制づくりを進めている。

病院がすべてを抱え込むのではなく、かかりつけ医と連携し、必要なときに地域で寄り添い支える医療を。親身な医師と誇りを持って働くスタッフや、支え合う仲間とともに、「ここに来てよかった！」と心から思ってもらえる病院であり続けたい、と井上さんは静かに語る。

「予防医療センター」が4月OPEN!

「もっと受けやすい健診を」という声に応え、健診センターが「予防医療センター」生まれ変わります！MRI・CTを備え、早期発見で地域の健康を支えています。

これからは「予防医療」の時代へ

社会医療法人 潤心会
熊本セントラル病院

1987年設立。「患者さんのための医療」を理念に、手術・救急から健診まで、地域に根ざした医療を幅広く提供しています。

住所／菊池郡菊陽町原水2921 電話／096-340-5001
受付時間／8:30~11:00、13:00~16:30
休診日／土・日・祝・年末年始